

橋本けいいち 熱血通信

市政活動報告【令和2年度 前期版】

〒981-3213
 仙台市泉区南中山3丁目16-19
 TEL090-1063-8833
 FAX(022)376-5232
 Email: hashihashi@nekketsu.net



こんにちは。皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。日頃からたくさんのお声をお寄せいただくとともに、多くのご要望を頂戴いたしておりますことに、心から感謝申し上げます。コロナ禍において日々の暮らしは大きく制約を受け、不安な毎日であると思います。しかし一刻も早いコロナの終息を目指し、市民が力を合わせ、この困難を乗り越えていきたいと思っております。今後とも更なる叱咤激励を力に変えて邁進していく所存です。

身近な市政情報

1 市内の危険なブロック塀の実態調査の結果がまとまりました

地震によるブロック塀倒壊事故を防ぐ為、令和元年度より3ヶ年の予定で市内の公道に面して設置されているブロック塀の調査が行なわれ、調査結果が発表されました。

- (1)対象道：公道(国道、県道、市道)指定通学路
- (2)対象塀：補強コンクリートブロック塀、組積造の塀、万年塀
- (3)対象範囲：市内小学校区のうち15小学校区
- (4)調査箇所：約3700敷地
- (5)危険なブロック塀の箇所数

新たに危険と判定されたものは37箇所あり、過年度判定分と合わせ、79箇所となります。

	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	計
小学校区	6	2	3	2	2	15
今回危険と判定したもの	5	7	0	16	9	37
過年度危険と判定したもの	7	11	4	16	4	42
合計	12	18	4	32	13	79

2 特別養護老人ホームの入居申込状況の調査結果をお知らせします

- ・調査方法：県内の特別養護老人ホーム(165施設)へ調査票郵送
 - ・調査結果：入居申込待機者数1727人(前年比53人減)
- 要介護度別内訳

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申込者数
R2.4.1	101人	170人	502人	573人	381人	1727人
	5.8%	9.8%	29.1%	33.2%	22.1%	

利用希望状況別内訳

	即入居希望	将来希望	即入居困難	連絡不通	その他	申込者数
R2.4.1	731人	656人	124人	95人	121人	1727人
	42.3%	38.0%	7.2%	5.5%	7.0%	

3 仙台市総合コールセンター「杜の都おしえてコール」が開設されました

市民サービスの向上と市役所業務の効率化を図る為、市政に関する一般的なお問合せに一元的に対応するコールセンターを開設しました。

- (1)名称：仙台市総合コールセンター(杜の都おしえてコール)

- (2)開設日：令和2年11月5日(木)
- (3)電話番号：022-398-4894(しゃくしょ)
- (4)受付時間：午前8時から午後8時まで(年中無休)
 ※土・日・祝日および年末年始は午後5時まで
- (5)サービス内容：電話、ファックス、電子メールにより、本市の様々な制度や手続きなど、市政に関する一般的な問い合わせをワンストップで受け付け、オペレーターが分かりやすく回答する。
- (6)対応言語：日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語の5カ国語に対応。

4 市バスダイヤの改正(令和3年4月)の実施が予定されます

厳しい経営状況が続く中、市バスを安定的に維持していくことを目的に「経営改善計画」を基に、収支改善やサービス向上に取り組んできました。しかし、新型コロナウイルス感染症による利用者数の大幅な減少や、短期間での回復が見込まれないことから、令和3年4月のダイヤ改正において、これまでの利用状況をもとに一定の減便を行います。

- (1)需要動向に応じた便数調整
 - ①朝ラッシュ時間帯の便数調整
 朝ラッシュ時間帯について、市内12箇所の主要バス停通過時の車内人数をもとに利用実態を踏まえ減便を行う。なお車内混雑が過密にならないよう、車内人数の目安を40人とする。
 - ②日中の便数調整
 - ③夕ラッシュ・夜時間帯の便数調整
 朝ラッシュ時間帯と同様の対応として利用実態を踏まえ減便を行う。
 - ④最終便の時刻調整
 20時以降の便について、最終便の時刻調整を行う。
- (2)運行路線(系統)の廃止
 利用の少ない路線について、代替交通手段の使用の可能性を踏まえ、運行効率改善に向け廃止する。
 ※具体的な便数調整や運行路線廃止については、仙台市交通局までお問い合わせ下さい。

橋本けいいちプロフィール

- 仙台市議会 会派 自由民主党 会長
 - 仙台市議会 歴史まちづくり調査特別委員会 委員
 - 仙台市介護保険審議会 委員
 - 仙台市廃棄物対策審議会 委員
 - 仙台市薬剤師会 顧問
 - 仙台市早起き野球協会 顧問
 - 仙台市議会 市民教育常任委員会 委員
 - 仙台市国民健康保険運営協議会 副会長
 - 仙台市地域包括支援センター運営委員会 委員
 - 仙台市食品衛生協会 顧問
 - 宮城県トライアスロン協会 顧問
- 昭和41年仙台市泉区生まれ/宮城県仙台第三高等学校卒/東北学院大学法学部卒

令和2年 第3回定例会 決算等審査特別委員会分科会質疑(内容を要約しています)

仙台市立病院改革プランについて

橋本の質疑 いよいよ仙台市立病院改革プランが本年をもって最終年度となる。医療の提供体制の数値目標が示されてきたが、その達成状況を伺う。

答弁 手術件数は目標数5000件に対し5072件、分娩件数は目標980件に対し1000件の実績である。又救急患者受入数は1万4719名であり、目標に届いていない。救急車搬送患者受入数は目標を大きく上回り、1日当たりの入院患者数はほぼ達成している。今後さらに病症の効率的な調整、活用により円滑な患者受け入れなどを推進し、入院患者の確保に努めていきたい。

橋本の質疑 収益アップ、コスト縮減といった経営改善策の達成状況はどうか。

答弁 経常収支比率は目標値92.9%に対し93.8%、又、医業収支比率は目標値89.1%に対し90.3%となり、目標を達成している。又医業収益に占める全体経費率は目標値21.7%に対し、20.9%と達成している。

橋本の質疑 目標をクリアしているのに経営状況が改善しない理由はどうか。

答弁 収益計画について、新病院整備に係る企業償還金の負担が大きいことや減価償却費が令和12年度まで11億円から16億円と高水準で推移していることから、減価償却費の減少が見込めるのは、令和13年度頃になると考える。引き続き経営改善に向け、一人一人が高い経営意識を持ち、経費をできるだけ抑える努力を続けていきたい。

橋本の質疑 経営形態の見直しはどう検討してきたのか。

答弁 地方公営企業法全部適用による運営と地方独立行政法人による運営、それぞれのメリット・デメリットを整理し、引き続き分析に努めていきたい。又、毎年度、経営改善の状況把握を行いながら、分析を行っているところです。

橋本の質疑 令和3年度以降の新改革プランの策定予定はあるのか。

か。

答弁 新プランの必要性について認識しております。国の地域医療構想の取りまとめを前提に踏まえていく必要があります。総務省はガイドラインを本年夏頃に改定し、令和3年度以降の新改革プラン策定を予定しておりますが、コロナ禍において、まだ示されていない状況です。引き続き内部での検討を進め、今後の動向を注視していきたい。

橋本の質疑 令和元年度の収入未済額と不納欠損額、又未収に至る経過を示されたい。

答弁 現年度、過年度合わせて1億9536万円となっており、今回債権放棄した額は298万円であります。又、経緯としては会計当日に持ち合わせがない為、後日納付を約束したがそのまま未収となるケースや、一括納付が困難という理由で分割しているケースなどがあります。

橋本の質疑 未収金の内訳と未収者の状況把握はできているのか。

答弁 確実に回収が見込める案件は39%の7599万円、法的措置の準備をしている案件が7%の1366万円、弁護士法人への回収業務委託案件が24%の4633万円、直接取組案件が30%の5938万円となっている。又、回収については電話や文書による督促勧告や分割払い等の提案にも応じない場合について、簡易裁判所への支払い督促を行っており、昨年度は35人821万円の申し立てを行っています。

橋本の質疑 未収金の縮減策と債権放棄額・理由についてどういうものか。

答弁 未収金発生防止策として限度額適用認定証の申込手続きを高額となる患者さんに案内するほか、出産患者さんへ出産一時金が直接医療機関に支払われる利用手続きをお願いするほか、一括払いが困難な患者さんには分割払いの支払いに応じるなど、状況に応じてきめ細かな対応をしているところです。平成30年度は201万円となっており、時効完成が理由となっている。

令和2年 第3回定例会 決算等審査特別委員会全体会質疑(内容を要約しています)

道路照明灯の不適切な事務処理について

橋本の質疑 以前発覚した不適切な事務処理に関し、電力契約情報を書いた台帳整備を行い、定期的照合を行うこととしたが、その実施状況を伺う。

答弁 道路照明灯台帳については令和元年9月までに整備を行った。又照合については、これまで10月と4月に行っている。

橋本の質疑 毎月送付の電気料金請求内訳書において、契約に係る諸手続の適切な反映と誤りの確認を行い、結果報告する仕組みの取組状況はどうか。

答弁 確認については区役所、総合支所において取りまとめた上で内訳書の確認を行っている。又半期に一度、道路保全課において全ての契約情報と東北電力の契約情報をつきあわせ、確認している。

橋本の質疑 管理職の親睦会等において必要な資金を借り受け、3440万円全額の補てんを行うとしていたが、その対応状況を確認したい。

答弁 20年以上の長期間にわたる不適切な事務処理であった為、部長級以上の職員から同意の上、協力を得るとともに管理職の親睦会と、退職された特別職などからの協力をいただき、一括して補てんを行ったところです。

橋本の質疑 市政だよりにおいて事務執行の見直しとコンプライアンスの推進に取り組むとしているが、これまでの取り組みと今後の対応を伺う。

答弁 一連の事務処理について議会における附帯決議、又決算不認定をしっかりと受け止めている。全方的なマニュアルの整備、運用状況の一斉点検、各課におけるリスクチェックシートの見直しを行うとともに、事務処理上の事故発生時の情報伝達ルートを再構築するなど、庁内のリスクマネジメントの仕組み整備を進めてきた。今年4月より導入した内部統制制度も活用しているところです。

本庁舎建替事業について

橋本の質疑 本庁舎建て替えに関し、アドバイザー業務なるものがある。この業務の設置理由と必要性について伺う。

答弁 建て替えについて、まちづくり、災害対応危機管理、利便性、持続可能性、環境配慮の観点が必要である。この為、建築、都市計画、環境等、専門分野の学識経験、実務経験を有している観点から選んだものです。大規模な庁舎であり、どう発注し設計者を選んでいくか、こうした視点で助言をいただくことが有益であります。東北大学の助言をいただき、設計者選定業務を進めております。

橋本の質疑 本市は防災環境都市を標榜している。建物の目的を踏まえ、受賞実績を明記することが必要ではないか。

答弁 受賞実績の評価は優秀な事務所選定につながることから、項目に入れさせていただく。建築設備の維持管理、環境負荷の低減、ライフサイクルコストの低減にもつながると考えている。

橋本の質疑 議事録が公表されていないが、透明性の担保につい

てどう考えるか。

答弁 透明性、公平性を確保することは重要である。具体的設計者を選ぶものであり、今後の審議、検討に影響があることから議事録公開は難しいと考えている。ただし会議公開に関する運用方針があるので、会議非公開とした場合でも審議終了後事由がなくなる場合に公開したい。今後、どのような形で情報提供ができるか検討したい。

橋本の質問 必要な情報提供を行い、議会との連携が必要ではないか。

答弁 新本庁舎は議会機能と行政機能、災害対策機能、市民利用機能を整備する必要がある。これから透明性、公平性が必要になっていくことを念頭に議会との情報共有に留意し、連携を図っていきたい。

仙台市の健全化判断比率について

橋本の質問 地方自治体の財政運営の状況判断する為の指標である「健全化判断比率」について、近年の変化を確認したい。

答弁 近年の変化について「実質赤字比率」と「連結実質赤字比率」は、実質収支に赤字が生じていない為、数値はない。「実質公債費比率」は8.2%～6.1%、「将来負担比率」は101.1%～78.8%となっています。

橋本の質問 示された健全化判断比率についての評価を伺う。

答弁 「実質公債費比率」や「将来負担比率」はともに改善している傾向にあり、おおむね適正な水準にあると認識している。一方、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響が見込まれることから、注視する必要がある。

橋本の質問 将来世代に負担とならないよう、市債発行を抑制する視点は大切だが、一方でまちづくりや災害を防ぐ為の投資は必要であり、市債を活用することも必要ではないか。

答弁 持続可能な財政基盤の確立には、市債の適切な管理に努める必要があるが、一方、本市将来を見据えた、まちづくりへの投資、防災・減災を図る為のインフラ施設の強靱化に取り組むことも重要である。しっかり町の基盤整備に必要な予算を確保していきたい。

橋本の質問 本市の経常収支比率は政令市平均よりも高いことから、財政構造が硬直化していると言えるが、このことによる問題をどう認識しているか。

答弁 硬直化進行により歳出に占める人件費や公債費、扶助費といった割合が高くなることで、地域実情を踏まえた施策を実施する為の経費を圧縮せざるを得ない状況になると考えている。

橋本の質問 少子高齢化が進行する中、市民サービスを維持しながら硬直化を防ぐ為の対応について伺う。

答弁 将来にわたり市民サービスを安定的に提供する為、歳入歳出両面からの取り組みにより、財政基盤の強化を図ることが一層重要になるものと考えている。あらゆる角度から自主財源の確保や歳出全般の効率化を進めたい。

橋本の質問 新年度予算編成について、市民が未来への希望が持てる施策を進める予算にする為、これまでの手応えと今後の考え方を伺う。

答弁 新型コロナウイルス感染症の影響により地方税や国税について大幅な減収が見込まれ、地方財源不足の拡大が懸念される。こうしたことから、感染症による影響を適確に見込んだ上で、臨時財政対策債によらず、地方交付税の増額により地方財源不足の解消を図るなど、国に強く要望していきたい。

仙台市基本計画中間案について

橋本の質問 基本計画策定にあたり、現行の総合計画と今回の総合計画との相違点、その特徴について伺う。

答弁 現行計画では目指す都市の姿を示したところだが、今回は基本構想を策定せず、基本計画の中で、目指す都市の姿を示

しています。まちづくりの理念として「挑戦を続ける新たな杜の都へ」を掲げ、杜の都の自然環境や防災環境都市としての安全・安心の基盤など、本市の強みを活かしながらチャレンジする姿勢を示しております。

橋本の質問 策定に向けて、これまで行ってきた市民参加の取り組みをお示しいただきたい。

答弁 中高生世代がまちづくりの施策を市長に提案する「仙台中高生会議」の開催や「地域づくりシンポジウム」、ワークショップ形式による「市民まちづくりフォーラム」を行った。又、全市民を対象にしたアンケートも実施し、幅広い世代から子育て、自然を生かしたまちづくり、若者の活躍など、多岐にわたってご意見をいただいた。

橋本の質問 「まちづくりフォーラム報告書」を中間案へどう反映したか。

答弁 このフォーラムは8つのテーマで直接市民の声を伺うために実施したものです。自然環境が持つ多様な機能に着目したグリーンインフラの充実や、年齢、性別、国籍、障害の有無などの多様性への理解が広がる機会づくり、まちの至る所で音楽や芸術など、学びや実践の機会がある環境づくりなどを盛り込んでいます。

橋本の質問 都心のまちづくりを考える上で「新本庁舎」、「音楽ホール」の配置計画は重要となる。どのような計画を考えているか。

答弁 音楽ホールについて、基本構想の着手に向けて検討を行っており、その中で市民会館を含む市内ホール体系について整理を行っている。都市の活性化などの観点も踏まえながら、適切な配置や在り方について検討を行っていききたい。

橋本の質問 都市ランキングの中で、本市が優位な「生活・居住」分野と「研究・開発」分野の強みを強化していくことが大切だが、この分野の取り組みについて伺う。

答弁 防災環境都市プロジェクトとして、自然や生態系の機能を防災面にも役立てるグリーンインフラの取り組みを、トータル未来プロジェクトとし、次世代放射光施設の設置を契機として、研究開発拠点や関連産業の集積を進めていきたい。

橋本の質問 「文化・交流」分野では大きく出遅れているが、どのような取り組みを想定されていくのか。

答弁 四季を彩るイベント、音楽や演劇などの文化芸術の取組み、祭りやスポーツイベントなど幅広い分野で交流人口を獲得できる資源を有していると考えます。これらの資源を最大限活用し、来訪者ニーズに合わせた多彩な体験プログラムを創出するなど、新たな魅力の発掘に取り組みたい。

橋本の質問 最も弱点となっている「経済・ビジネス」の分野についての対策はどうか。

答弁 この分野において、人材面や財政への評価が低いものとなっており、人材の首都圏への流出や市内事業所の所得が市外へ流出していることなどが要因と考える。産学官連携といった本市の特徴を活かし、研究開発拠点や関連産業のさらなる集積を図り又、社会的課題解決に寄与するスタートアップ企業への支援強化に繋げたい。

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ対策について

橋本の質問 新型コロナやインフルエンザ対策について地域等のガイドラインの作成を行うべきではないか。

答弁 地域・町内会において新しい生活様式の下で活動を再開していただきたい。今後の町内会活動を後押しするため、会議の開催などに参考としていただける、判りやすい感染症対策の手引きといったものを作成し、配布していきたい。

橋本の質問 本市のインフルエンザワクチンの接種状況と今シーズンの確保状況を伺う。

答弁 新型コロナ感染症とインフルエンザの同時流行を見据えた対応が重要である。65歳以上の方、60歳から64歳までの一定の障害をお持ちの方の定期予防接種率は54.8%とな

っています。県医薬品卸組合への流通見込みを確認し、流通状況の把握に努めたい。

橋本の質疑 県に頼るだけでなく医療機関とのネットワークをしっかりと活用して対応すべきではないか。

答弁 仙台市医師会との連携を図るとともに、更なる参加医療機関の拡充による検査態勢の充実に努めたい。現在、本市とPCR検査に係る行政検査委託契約を締結している医療機関は計198か所となっております。

橋本の質疑 県立がんセンター、東北労災病院及び仙台赤十字病院の統合、移転に関する今後の対応についてはどうか。

答弁 東北労災病院には年間3000名を超える救急患者を、仙台赤十字病院は年間千数百名の患者さんを救急搬送しており、加え仙台赤十字病院は周産期医療の中核として、年間800例近くの分娩を取り扱っております。仮にこれらの病院が市外移転するとなれば、本市の医療提供体制に大きな影響が及ぶことになり、県に対して検討状況について情報提供を求めるとともに、両院からお話を伺うなど対応しているところであります。

行政デジタル化の取り組みについて

橋本の質疑 「仙台市ICT利活用方針」について、現在の取り組み状況を確かしたい。

答弁 サーバー型RPAを本格的導入するための計画策定、既存システムの最適化、クラウド導入に向けた検討を行っている。又、オープンデータの利活用の促進や行政手続きデジタル化に向けた、事業化の検討を行ってきたところである。

橋本の質疑 デジタル化が遅れている要因と課題はどうか。

答弁 個人情報保護の観点において、セキュリティを重視してきたことから、内部システムをインターネットに直接接続できず、一連の手続きをデジタル化で完結できないと認識している。又、行政手続きデジタル化の阻害要因になっている押印や添付書類の見直しその他、マイナンバーカードの普及促進など、更なる活用について、速やかに対応していきたい。

橋本の質疑 デジタル化を進める為のビジョンと体制整備についてしっかりと行うべき。

答弁 経済活動を含め、医療や教育などの分野において、デジタル化のスピードが上がっております。デジタル化に向けた新たな取り組みと総合的かつスピード感を持って実現する為の全庁的な推進体制を検討していきたいと考える。

質問内容と答弁の詳細については、仙台市議会のホームページからもご覧いただけます。

仙台市議会ホームページアドレス
<http://www.gikai.city.sendai.jp>

活動レポート



2020年7月
仙台市災害対策本部を視察しました。昨今の豪雨等の自然災害への対応や避難所における感染症対応について具体的なマニュアルを基に、市民の適切な避難行動と不測の見直しを行い、受け入れ体制の充実を更に進めていく必要があります。



2020年8月
新年度から新園舎においてスタートした市内の「幼保連携型認定子ども園」を訪問しました。保育園と幼稚園の機能を併せ持った新しい施設として、養護と教育の2つの機能の充実を図り、0～5歳児までの教育・保育の実践を通して地域と連携した支援が期待されます。



2020年9月
仙台市国民健康保険運営協議会副会長として、新たに就任された安藤仙台市医師会長と意見交換を行いました。新型コロナウイルス感染症への対応をはじめ、今後の高齢化の中での医療のあり方、かかりつけ医の重要性、訪問医療の取り組みなど広範囲にわたり相互理解が深めることができました。



2020年10月
「仙台市ガス事業民営化計画」が策定され、ガス事業の民営化が進められています。令和2年度中に事業継承者を公募・選定し令和4年度の民営化を目指しています。民営化においても、都市ガスの安定供給や保安水準が確保される必要があります。市民ユーザーの暮らしが更に良いものになるよう、しっかりと取り組んで参ります。



2020年11月
災害活動への支援協定に基づき、県解体工事業協同組合と仙台市消防局救助隊員の合同訓練に参加しました。情報伝達をはじめ、重機オペレーション、重機による土砂・重量物排除の訓練が行われるなど、更なる連携強化と効果的な災害活動実施体制の構築が求められます。



2020年11月
経営悪化により存続が危ぶまれていた、Fリーグの地元チーム「ヴォースクオーレ仙台」の経営を引き継ぐ共同経営者の方々とともに、郡仙台市長を訪問しました。来シーズンは経営の立て直しを図るとともに、新型コロナウイルス感染症終息を見据え、リーグ参戦を目指し、しっかりととした取り組みが望まれます。応援しています。



2020年12月
昨今、地域の大きな課題となっている身近な「街区公園」の管理について、町内会長さん・公園愛護協会代表の立ち会いのもと、泉区公園課の方々と共に樹木の管理、街灯、除草、側溝の調査を行いました。地域の高齢化を配慮した、今後の連携協力のあり方についても再検証する必要があります。



2020年12月
市内の知的障がい者を持つ保護者の方々とともに、健康福祉局担当課との意見交換会を開催いたしました。知的障がい者の特性をできるだけ多くの方々に理解していただく為に、健常者も障がい者も共に生きていけるコミュニティ（地域）である必要があります。今後も、こういった場を数多く開催して参りたいと思います。

皆様のご意見ご要望等どしどしお聞かせ下さい。お待ちしております。

TEL090-1063-8833 FAX(022)376-5232 Eメール : hashihashi@nekketsu.net

FAX

022-376-5232

橋本 けいいち

仙台市議会議員



いつでも
ご連絡ください。
お待ちしております。

ご記入者 市民意識調査・アンケートにご協力下さい。ご連絡・報告が必要な場合、下記へご記入下さい。

フリガナ お名前	自宅住所 〒		
	区		
男・女	電話	-	携帯() -

●ご意見・ご要望をお寄せ下さい

仙台市のこういった事について疑問等をお持ちですか。

- | | | |
|--|--|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス対策について | <input type="checkbox"/> バリアフリーについて | <input type="checkbox"/> ごみの取扱について |
| <input type="checkbox"/> 仙台市の財政について | <input type="checkbox"/> 小中学校について | <input type="checkbox"/> 雇用について |
| <input type="checkbox"/> 仙台市の健康づくりについて | <input type="checkbox"/> 歴史や文化について | <input type="checkbox"/> 観光について |
| <input type="checkbox"/> 救急や医療について | <input type="checkbox"/> 税金について | <input type="checkbox"/> 地下鉄・バスについて |
| <input type="checkbox"/> 国民年金について | <input type="checkbox"/> 福祉の取組みについて | <input type="checkbox"/> 道路の整備について |
| <input type="checkbox"/> 町内会運営について | <input type="checkbox"/> 介護予防や介護保険について | <input type="checkbox"/> 地震対策について |
| <input type="checkbox"/> セクシャルハラスメントについて | <input type="checkbox"/> 子育てについて | <input type="checkbox"/> 市民センターについて |
| <input type="checkbox"/> 緑化や公園について | <input type="checkbox"/> 防犯や防災対策について | <input type="checkbox"/> 国際交流について |
| <input type="checkbox"/> 中小企業への融資について | <input type="checkbox"/> 下水道・雨対策について | <input type="checkbox"/> その他 |

●ああして欲しい!!こうして欲しい!!

仙台市政やその他、気になることを詳しくお聞かせください。

ありがとうございました。実現できるように頑張ります!!

橋本けいいち	〒981-3213 仙台市泉区南中山3-16-19
連絡先	TEL090-1063-8833・FAX022-376-5232

※個人データは、議員活動の連絡などに使用し、それ以外での使用は一切いたしません。

仙台市議会議員(泉区選出)5期

橋本けいいち 熱血通信

市政活動報告【令和2年度 前期版】

〒981-3213
仙台市泉区南中山3丁目16-19
TEL 090-1063-8833
FAX (022) 376-5232
Email: hashihashi@nekketsu.net



こんにちは。皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。日頃からたくさんのお声をお寄せいただくとともに、多くのご要望を頂戴いたしておりますことに、心から感謝申し上げます。コロナ禍において日々の暮らしは大きく制約を受け、不安な毎日であると思います。しかし一刻も早いコロナの終息を目指し、市民が力を合わせ、この困難を乗り越えていきたいと思っております。今後とも更なる叱咤激励の力に支えられていく所存です。

身近な市政情報

1 市内の危険なブロック塀の実態調査の結果がまとまりました

地震によるブロック塀倒壊事故を1度より3ヶ年の予定で市内の公道に面しているブロック塀の調査が行なわれ、調べられました。

- (1)対象道:公道(国道、県道、市道)指針
- (2)対象塀:補強コンクリートブロック塀、組積造の塀、万年塀
- (3)対象範囲:市内小学校区のうち15小学校区
- (4)調査箇所:約3700敷地
- (5)危険なブロック塀の箇所数
新たに危険と判定されたものは37箇所あり、過年度判定分と合わせ、79箇所となります。

	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	計
小学校区	6	2	3	2	2	15
今回危険と判定したのも	5	7	0	16	9	37
過年度危険と判定したのも	7	11	4	16	4	42
合計	12	18	4	32	13	79

2 特別養護老人ホームの入居申込状況の調査結果をお知らせします

- ・調査方法:県内の特別養護老人ホーム(165施設)へ調査票郵送
- ・調査結果:入居申込待機者数1727人(前年比53人減)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申込者数
R2.4.1	101人	170人	502人	573人	381人	1727人
	5.8%	9.8%	29.1%	33.2%	22.1%	

利用希望状況別内訳

	即入居希望	将来希望	即入居困難	連絡不通	その他	申込者数
R2.4.1	731人	656人	124人	95人	121人	1727人
	42.3%	38.0%	7.2%	5.5%	7.0%	

3 仙台市総合コールセンター「杜の都おしえてコール」が開設されました

市民サービスの向上と市役所業務の効率化を図る為、市政に関する一般的なお問合せに一元的に対応するコールセンターを開設しました。

- (1)名称:仙台市総合コールセンター(杜の都おしえてコール)

(2)開設日:令和2年11月5日(木)

☎:022-398-4894(しやくしよ)

🕒:午前8時から午後8時まで(年中無休)

※土・日・祝日および年末年始は午後5時まで

📞:電話、ファックス、電子メールにより、本市の様々な制度や手続きなど、市政に関する一般的な問い合わせをワンストップで受け付け、オペレーターが分かりやすく回答する。

(6)対応言語:日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語の5カ国語に対応。

4 市バスダイヤの改正(令和3年4月)の実施が予定されます

厳しい経営状況が続く中、市バスを安定的に維持していくことを目的に「経営改善計画」を基に、収支改善やサービス向上に取り組んできました。しかし、新型コロナウイルス感染症による利用者数の大幅な減少や、短期間での回復が見込まれないことから、令和3年4月のダイヤ改正において、これまでの利用状況をもとに一定の減便を行います。

(1)需要動向に応じた便数調整

①朝ラッシュ時間帯の便数調整

朝ラッシュ時間帯について、市内12箇所の主要バス停通過時の車内人数をもとに利用実態を踏まえ減便を行う。なお車内混雑が過密にならないよう、車内人数の目安を40人とする。

②日中の便数調整

③夕ラッシュ・夜時間帯の便数調整

朝ラッシュ時間帯と同様の対応として利用実態を踏まえ減便を行う。

④最終便の時刻調整

20時以降の便に20時以降の時刻調整を行う。

(2)運行路線(系統)の廃止

利用の少ない路線について、公共交通手段の使用の可能性を踏まえ、運行効率を向上させ、廃止する。

※具体的な便数調整や運行時刻調整については、仙台市交通局までお問い合わせ下さい。

橋本けいいちプロフィール

- 仙台市議会 会派 自由民主党 会長
- 仙台市議会 歴史まちづくり調査特別委員会 委員
- 仙台市介護保険審議会 委員
- 仙台市廃棄物対策審議会 委員
- 仙台市薬剤師会 顧問
- 仙台市早起き野球協会 顧問

- 仙台市議会 市民教育常任委員会 委員
- 仙台市国民健康保険運営協議会 副会長
- 仙台市地域包括支援センター運営委員会 委員
- 仙台市食品衛生協会 顧問
- 宮城県トライアスロン協会 顧問
- 昭和41年仙台市泉区生まれ/宮城県仙台第三高等学校卒/東北学院大学法学部卒

仙台市議会議員

橋本けいいち 市政活動報告